

03

基本方針別計画

基本方針別計画の施策展開

将来都市像の実現に向けて、4つの基本方針、20の施策からなる基本方針別計画を策定し、各方針における施策を推進します。



▶ 動画で解説

将来
都市像

基本構想

まちづくりの基本方針

基本計画

重点戦略

基本方針別計画

人が輝く
安心快適な産業文化都市



基本方針 1
都市基盤

安心して暮らし続けられる
快適なまちづくり



基本方針 2
教育文化

生涯にわたって学び地域
への愛着を育むまちづくり



基本方針 3
産業環境

人と技術でにぎわいを創り
未来につながるまちづくり



基本方針 4
福祉安心

支え合い誰もが安心して
暮らせるまちづくり

重点戦略 1 若い世代や子育て世代への支援

重点戦略 2 魅力ある働く場の創出

重点戦略 3 にぎわいの創出

重点戦略 4 誰もが活躍できる社会の形成

重点戦略 5 安全に暮らし続けられる環境の整備

1 市街地・住環境
2 道路・交通
3 公園緑地・緑化
4 治水・水辺環境
5 上下水道

1 学校教育
2 生涯学習・青少年育成
3 スポーツ
4 歴史・文化・観光交流

1 商工業
2 農業
3 環境

1 子育て支援
2 健康づくり
3 地域福祉
4 高齢者福祉
5 障害児・者福祉
6 防災
7 生活安全
8 共存・協働

視点1 未来技術の活用

視点2 刈谷の魅力発信

マネジメント方針 持続的なまちの発展を支える行財政運営

1 時代の変化に対応した行政運営 2 健全な財政運営 3 多様な主体との連携 4 戦略的な情報の発信・収集

基本方針別計画の見方

主な関連ゴール

SDGsの17のゴールのうち、施策に関連する主なゴールをアイコンで示しています。

施策の項目

4つの基本方針別に体系化された施策の項目を示しています。基本方針別計画では、施策ごとに、めざす姿、指標、施策の背景、施策の内容、連携・協働の考え方、関連する個別計画を見開きで示しています。

めざす姿

当該施策に取り組むことによって、10年後にめざす、まちや市民の状態を示しています。

指標

めざす姿の達成状況を評価するため指標を設定し、10年後に達成をめざす目標値を示しています。

施策の背景

施策に取り組む背景となっている現状と課題をまとめて示しています。

関連する図表等

施策に関連するデータ等を掲載しています。

1-1 市街地・住環境

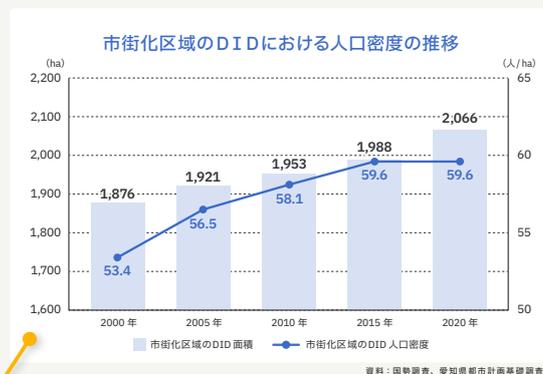
めざす姿

- 既存市街地の再生、鉄道駅周辺の土地の高度・有効利用や新たな住宅地の供給などを進めることで、活気と魅力にあふれ、誰もが安心して快適に暮らすことができる質の高いまちとなっています。

指標	現状値	目標値(めざす方向) 2032年
快適で便利な住環境が整備されていると思う市民の割合	82.1% (2022年)	84.2%
市街化区域のDID(人口集中地区)の人口密度	59.6人/ha (2020年)	59.9人/ha

施策の背景

現状	課題
中心市街地の一部では低未利用地が多く、高度利用が図られていない土地が見られます。	→ 活気と魅力あふれる都市空間の創出が求められています。
スマートインターチェンジの開通を契機に、周辺地域の開発がテンションが高まること予想されます。	→ 周辺環境に配慮した、計画的な土地利用の誘導が求められています。
人口は増加傾向であるものの、子育て世代の転出傾向が見られます。既存市街地内にまとまった工業用地の確保が困難であり、市内企業の流出が懸念されています。	→ 新たな住宅地とともに工業用地の確保が求められています。
管理不全の空家等の増加が見込まれ、生活環境への影響や地域活力の低下が懸念されています。	→ 良好な生活環境の保全が求められています。
地域に残る歴史・文化資源がいかされたまちなみの形成が進んでいません。	→ 地域住民が景観まちづくり活動に参加する動機づけとなる取組が必要となります。



1-1 市街地・住環境

049

第3編 基本計画

施策の内容

111
計画的な
土地利用

- ①刈谷駅周辺は、都市拠点として土地の高度・有効利用を促進し、居住や商業施設・オフィスなどの多様な機能の集積を図ります。他の交通結節点を中心とする地域は、その地域の特性や規模に応じた機能の維持・集積を図ります。
- ②スマートインターチェンジの開通を契機に、広域交通体系の整備効果とともに、刈谷ハイウェイオアシスを始めとする地域資源をいかした、にぎわいや交流などが生まれる計画的な土地利用を図ります。
- ③子育て世代の定住化と、産業技術機能の集積・拡充による活力あふれる都市の実現に向けて、自然的土地利用との調和を図りつつ、道路などの既存施設が活用できる区域に、新たな市街地を計画的に創出します。

112
市街地の
整備・改善

- ①中心市街地は、民間活力を活用しながら、活気、魅力、にぎわいのあふれるまちとして整備を進めます。
- ②土地区画整理事業や地区計画制度などを活用した基盤整備により、健全な市街地の形成を図ります。
- ③新たな居住環境やまちなぎわいの創出をめざし、市民のまちづくり意識の醸成や合意形成の促進に向けた自主的な取組を支援します。
- ④公民連携により、公共空間を活用し、まちなかの魅力の向上を図ります。

113
住環境の充実

- ①市営住宅の建替えや改修などを進め、建物の安全性や入居者の居住性を高めます。
- ②空家等の発生抑制や適切な管理、利活用の促進などの対策に取り組み、良好な生活環境の保全を図ります。
- ③民間活力を活用した既存市街地の環境整備・改善、周辺環境と調和した新市街地の整備を図りながら、防災性に優れた良好な住環境の整備を進めます。
- ④民間住宅などの耐震化を促進します。

114
まちなみ・
景観の充実

- ①景観計画を始めとする景観まちづくりの方策や体制を検討し、亀城公園周辺を始めとする歴史・文化資源などをいかした趣あるまちなみの形成を図ります。
- ②道路、公園、河川、公共建築物などの都市基盤施設の整備にあたっては、周辺景観との調和に配慮した整備を推進します。
- ③景観意識の普及、啓発に努め、住民・事業者の景観づくりへの取組を支援します。

連携・協働の考え方

●市民や事業者などがまちづくりを主体的に捉え、話し合う土壌づくりを支援します。地域住民の参加や協働の意識を高め、ワークショップなどにより意見や提案を把握し、施策や事業の実施にあたります。

関連する個別計画

- 第4次刈谷市都市計画マスタープラン（2023年度～2032年度）
- 刈谷市住生活基本計画（2018年度～2027年度）
- 刈谷市中心市街地まちづくり基本計画（2018年度～2027年度）
- 刈谷市立地適正化計画（2018年度～2040年度）
- 刈谷市空家等対策計画（2019年度～2028年度）

FUTURE NAVI | KARIYA CITY 8TH COMPREHENSIVE PLAN

施策の内容

施策の展開の方向とその具体的な内容を示しています。

関連する個別計画

施策に関連する既存の個別計画などを掲げています。

連携・協働の
考え方

施策の推進にあたって、市民や団体、事業者などとの連携・協働の考え方を示しています。